



OTSUKA GROUP SUSTAINABILITY

ハンドブック

未来を創る。そのために、大塚グループは進む。



Otsuka.
People-creating new products
for better health-worldwide.





未来を創る。そのために、 大塚グループは進む。

大塚グループにとって、より良い未来へ向けた社会課題の解決は、
事業活動そのものです。

その考えと取り組みは今、人の健康づくりだけでなく、
社会の健康づくりや地球の健康づくりへも、広がっています。

次の100年を築くのは、今の大塚を支える、私たち。

多種多様なグループが一体となり、
企業の持続的成長とサステナブルな社会の実現に向け、
トータルヘルスケアカンパニーとして、
私たちはこれからも歩みを続けていきます。

INDEX

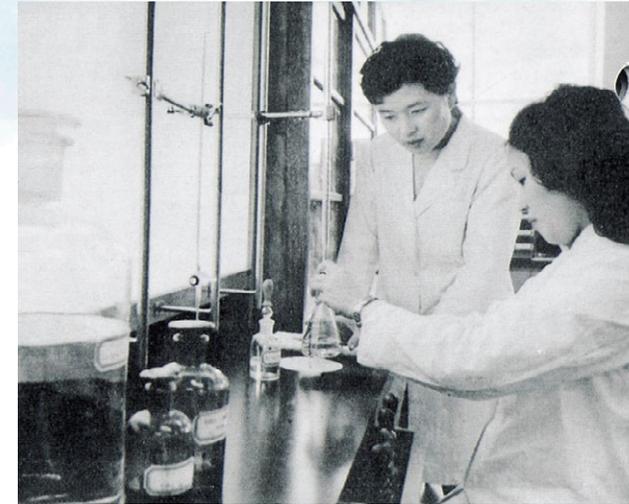
- P3 一人ひとりの活動が
サステナブルな社会の実現へ
- P4 **健康** 満たされない医療ニーズに貢献
- P5 **健康** 多様化する健康課題の解決に貢献
- P6 **人材** 新たなイノベーションを
生み出すための多様な人材の活躍
- P7 **品質** 創業から続く
「お客さま第一」「品質第一」の精神
- P8 **環境** 地球の健康に貢献
- P9 事業活動を通じて
サステナブルな社会の実現に貢献



COLUMN

サステナビリティとは？

サステナビリティは日本語で「持続可能性」と訳されます。企業においては利益を追い求めるだけでなく、世の中全体のことを長期的な視点で考え、事業活動を行うべきであるという考え方です。そのため、事業活動において「環境」「社会」「経済」に与える影響を考慮することが重要視されます。



Otsuka-people creating new products
for better health worldwide

創業時から
受け継がれる想い



大塚グループは1921年に創業以来、「世界の人々を健康に」という願いを実現すべく、健康課題の解決に挑戦し続けてきました。生命維持に必要な不可欠な輸液事業を終戦直後に展開。また地球温暖化の中、熱中症対策として寄与するポカリスエット。それぞれの時代や社会の変化を捉え、「大塚にしかできないこと」を追求してきました。

“Otsuka-people creating new products for better health worldwide”。全世界の社員が共有する企業理念のもと、その取り組みは脈々と受け継がれています。

一人ひとりの活動がサステナブルな社会の実現へ

大塚グループでは、事業と一体化したサステナブルな社会の実現の取り組みを推進し、持続的な成長を目指します。
サステナビリティのために特別なことに取り組むのではなく、私たちが日々取り組んでいる活動そのものが、世界の人々が抱える、あるいはまだ気が付いていない課題の解決につながります。

サステナビリティミッション

大塚グループは、企業理念のもと、事業を通じた社会課題の解決に取り組み、自らの持続的な成長と健康でサステナブルな社会の実現を目指します。そのため、最適なガバナンス体制を土台として社会と地球に貢献する活動目標の達成に取り組めます。

サステナブルな社会の実現に貢献

大塚の事業活動 = 社会課題の解決

Otsuka-people creating new products for better health worldwide



COLUMN

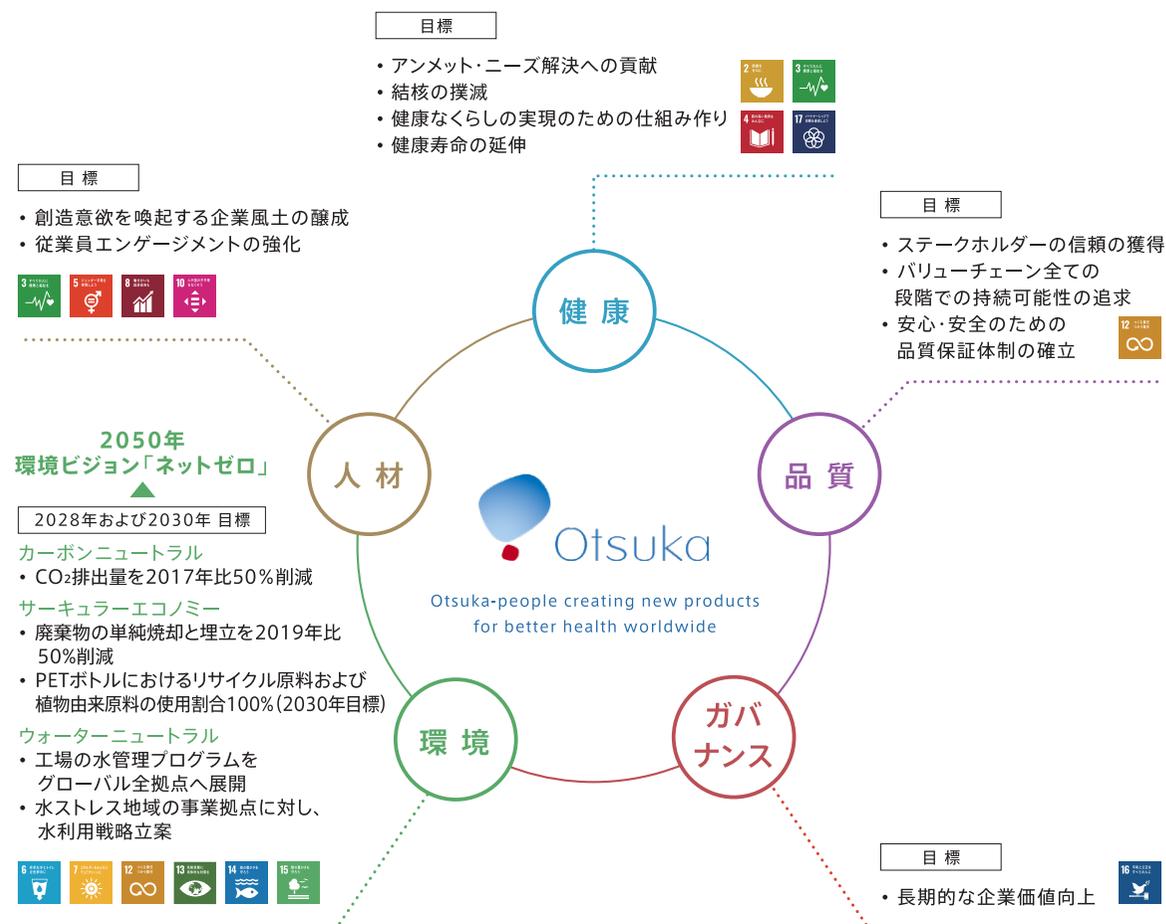


SDGsとは？

「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。17の大きな目標とそれらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

マテリアリティ

私たちが優先的に取り組むべき課題として、マテリアリティ(重要項目)を「社会(健康、人材、品質)」「環境(カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミー、ウォーターニュートラル)」「ガバナンス」と特定しました。またそれぞれに目標を定め、取り組みを推進しています。これらの活動は、SDGsの達成にもつながると考えています。



満たされない医療ニーズに貢献

人々の健康でありたいという想いは、普遍的に存在するものです。

有効な治療法がない疾患、または既存治療法への治療満足度が低い疾患は、今なお数多く存在しています。

医療関連事業では、いまだアンメット・ニーズの高い領域である精神・神経領域およびがん領域を中心に、患者さん、医療従事者の視点に立った課題解決への挑戦を続けています。



精神・神経

患者さんの社会復帰に貢献

副作用が少ない内服薬や持続性注射剤など長期にわたる治療継続に適した製剤、剤形の開発により世界中の患者さんの社会復帰に貢献



がん

患者さんのQOLを高める

経口抗がん剤の開発で、外来治療を可能とし、患者さんの生活の質(QOL)に貢献
グローバルでの研究開発を加速し、世界の医療ニーズに応える



循環器・腎

難病治療への貢献

腎臓の難病に対する世界で初めての治療薬を開発し、
世界中の患者さんに貢献



臨床栄養

医療機関のニーズを満たす技術革新

災害等の緊急時には必須であり、高品質な輸液を安定供給することで、
生命維持に貢献。その他にも医療従事者の利便性を追求したキット製品などを開発



医療機器

新たな治療選択肢を提供

いまだ有効な治療法のない疾患に対し、グループで培った知見と
医療機器のノウハウを基盤に、身体に負担の少ない独創的な治療選択肢を提供

COLUMN

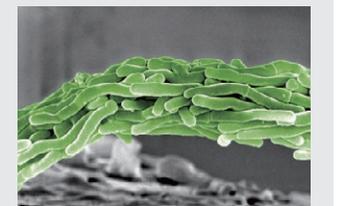
結核撲滅への挑戦

結核は世界の公衆衛生上の深刻な問題で、毎年150万人の命を奪っています。大塚製薬では、30年以上かけて多剤耐性肺結核治療薬の「デルディバ」を創薬しました。2015年にはWHOの必須医薬品リストにも掲載。現在、世界110を超える国・地域で使用が可能になっています。この取り組みは、2019年10月、発展途上国の保健医療の向上を目的に活動している国際製薬団体連合会(IFPMA)が発信した「Global Health Progress」で、SDGsの目標のひとつである「すべての人に健康と福祉を」と関わる活動として紹介されました。



結核とは？

世界三大感染症のひとつである結核は、空気感染によって結核菌が体に入って主に肺の内部で増殖し、咳や痰等の症状が発生します。深刻化すると、呼吸が困難になったり、他の臓器などにも影響したりして、最終的には死に至ることもあります。感染力は強いですが、発症するのは5~10%程度といわれ、体力の低下や加齢などにより、感染後何年もたってから発症するケースもあります。



※5つの領域以外の医療ニーズにも貢献しています。

多様化する健康課題の解決に貢献

医療関連事業で培われたノウハウを生かした独自の視点で栄養や運動などに関する研究を進め、人々の健康の維持・増進のための科学的な根拠をベースとした独創的な製品を開発しています。さらに、健康価値を広く、継続的に伝える活動を行うことにより、多様化する健康課題の解決への貢献を目指します。

科学的根拠をもった独創的な製品開発

多様化する健康課題・ニーズ

健康寿命の延伸

女性の健康課題

栄養意識の高まり

水分補給の重要性



今後も健康課題の解決に向けて研究を継続し続けます

※1) プラントベースフード(大塚食品【ゼロミート】・デイヤ社)
カーボンフットプリントが少なく、環境への負担を抑えられ、より持続可能な食品

※2) メディカルフード(イーエヌ大塚製薬【あいと】)
通常の食事が難しくなった高齢の方でも、食事の時間を楽しんでいただけるようやわらかく加工した食品を提供

健康価値を伝える活動



熱中症予防啓発を30年以上継続
「水分と電解質(イオン)補給の重要性」の
情報提供を長年にわたって実施

——— 大塚製薬

深刻な脱水状態に陥る手前の予防対策を
啓発する「教えて!『かくれ脱水』委員会」の
運営への協力を通じ、熱中症対策の啓発に
協力

——— 大塚製薬工場



健康セミナーの開催

「女性の健康」「睡眠」「体調管理」など
の正しい知識をひろめるセミナーを
全国で開催



栄養の大切さを伝える食育活動

AIを活用した親子向けの食育アプリを
配信するなど、健康の維持・増進に関
する栄養の知識をもってもらうための
活動を継続

——— 大塚製薬

新たなイノベーションを生み出すための多様な人材の活躍

大塚グループでは、ダイバーシティという概念が浸透していなかった1980年代から、企業の成長の原動力となる革新的な製品やアイデアを生み出すためには、国籍、人種、年齢、性別、障がい、性的指向などの垣根を越えた多様な人材の活躍が必要と考え、ダイバーシティを推進してきました。また生命関連企業として、社員一人ひとりが心身ともに健康で、働きやすい職場環境づくりを推進しています。

- **健康宣言**
—グループ主要7社等*
- **健康セミナー**
グループ社員やご家族へ実施
- **ポカリフレッシュ**
オフィスや工場でインストラクターの指導のもと、体操(ポカリフレッシュ)を実施
—大塚製薬
- **がん治療と仕事の両立などの支援**
—大鵬薬品



- **事業所内保育所**
3つの事業所内保育所を開所
特に徳島の保育所は国内最大級
- **イクボス宣言を表明**
—グループ主要7社等*
- **在宅勤務制度**
グループ統一で導入



- **社内公募制度**
グループ間の人材交流の活発化としてグループ会社へ公募できる制度を導入
- **企業内大学の開校**
「Global One Academy」
—大鵬薬品
- **社外での挑戦**
ビジネススクール等の受講支援
—大塚化学・大塚倉庫等



- **女性の活躍**
2017年「女性のエンパワメント原則 (WEPS)」に署名
グループ横断でセミナー等を実施
- **障がい者雇用の支援**
「はーとふる川内」を設立
—大塚製薬
- **LGBTQの理解促進**
グループ全体でLGBTQ研修を実施
—グループ主要7社等*



データの範囲: 2018年度は6社(大塚製薬、大塚製薬工場、大鵬薬品、大塚倉庫、大塚化学、大塚食品)、2019年度は9社(上記6社と大塚ファーマシューティカルD&C、大塚アメリカファーマシューティカル、ファーマバイト)、2020年度は11社(上記9社と大塚HD、大塚メディカルデバイス)



データの範囲: 2018年度は6社(大塚製薬、大塚製薬工場、大鵬薬品、大塚倉庫、大塚化学、大塚食品)、2019年度は9社(上記6社と大塚ファーマシューティカルD&C、大塚アメリカファーマシューティカル、ファーマバイト)、2020年度は11社(上記9社と大塚HD、大塚メディカルデバイス)
参考:【国内】女性管理職の割合:平均7.8%
※「帝国データバンク景気動向調査2020年7月」を参照

※グループ主要7社: 大塚製薬、大塚製薬工場、大鵬薬品、大塚倉庫、大塚化学、大塚食品、大塚メディカルデバイス

外部評価の取得



- 健康経営優良法人 ホワイト500 (大規模法人部門) / 大塚HD、大塚製薬、大鵬薬品
- 健康経営優良法人 (大規模法人部門) / 大塚製薬工場、大塚食品、大塚倉庫
- 健康経営優良法人 (中小規模法人部門) / 大塚メディカルデバイス、大塚ウエルネスベンディング、大塚電子、JIMRO、大塚テク、大塚製薬健康保険組合



- スポーツエールカンパニー 大塚製薬【2017年以降~5年連続認定】
※連続認定企業「ブロンズ」
大塚薬品【2022年認定】



- 東京都スポーツ推進モデル企業 大塚製薬【2015~2021年度認定】

多様な人材



- なでしこ銘柄 大塚HD
※調査回答範囲: 大塚HD、大塚製薬【2020年選定】



- プラチナくるみん / 大塚製薬工場、大塚薬品、大塚化学
- くるみん / 大塚製薬、大塚食品等



- もにす認定 はーとふる川内【2020年認定】

創業から続く「お客さま第一」「品質第一」の精神

“品質は工場の生命にして包装も亦(また)品質なり 買う身になりて造れ売れ”これは、社員から「おやじさん」と呼ばれ、親しまれていた創業者の大塚武三郎の言葉です。

1946年、注射薬の製造販売を開始するにあたり、製造・運送・販売に従事する人々の必ず実行すべき事柄であると書に示しました。

この書は事業所や工場等に提示され、今日にいたるまで、創業から続く「お客さま第一」「品質第一」の大塚グループ全社員の礎となっています。

私たちは持続可能な未来のために、2018年10月に「消費者志向自主宣言」を表明し、

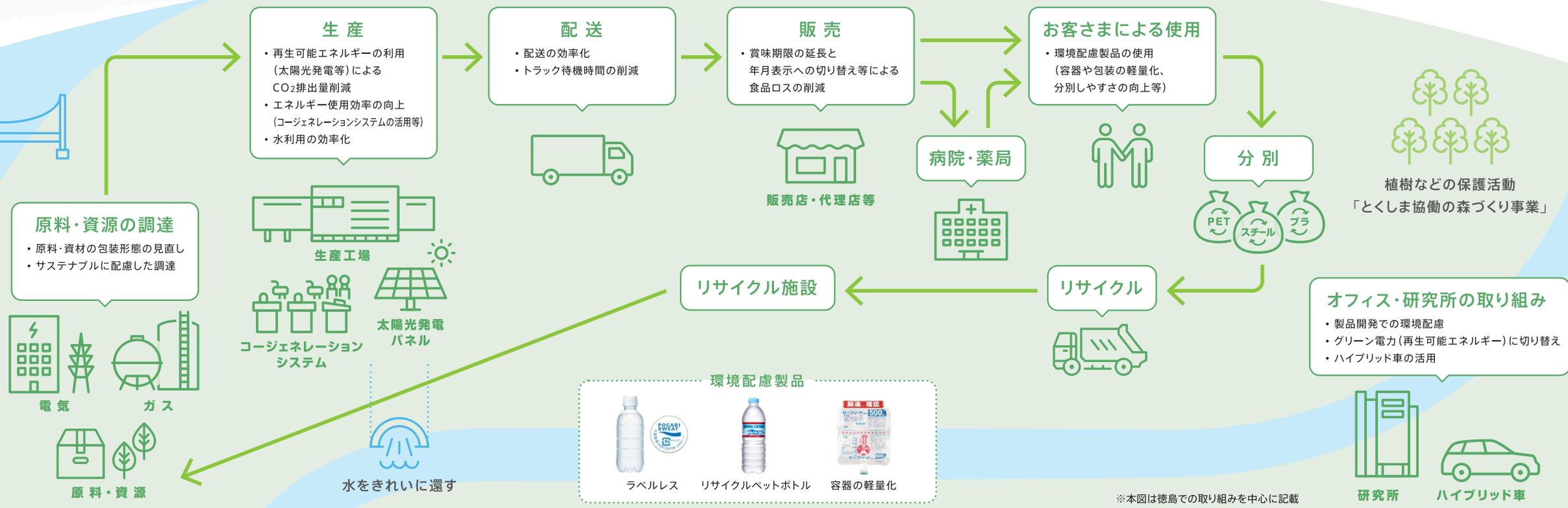
この基本方針のもと、すべてのステークホルダーのために適切な意思決定を行い、それに基づいた取り組みを推進しています。



地球の健康に貢献

地球環境を守るための活動も事業活動の一環として捉え、2050年環境ビジョンとして事業活動におけるすべての環境負荷をゼロにする「ネットゼロ」を新たに掲げました。大塚グループは地球環境に配慮した活動を自主的、積極的、継続的に創造性をもって取り組み、持続可能な社会の実現に貢献します。

2050年 環境ビジョン「ネットゼロ」 事業活動におけるすべての環境負荷をゼロに



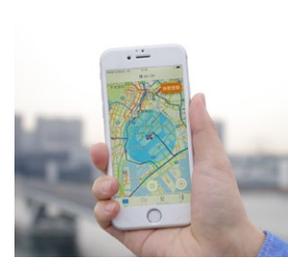
COLUMN



2020年度
再エネ導入によるCO₂削減量
84,000t
(約29,000世帯の年間の排出量に相当)

■ CO₂排出量(左軸)
● CO₂売上原単位(右軸)
データの範囲:
大塚グループ連結対象全生産拠点

CO₂排出量削減への取り組み
大塚グループ5社^{※1}の国内全23工場にCO₂フリー電力を導入。コージェネレーションシステム^{※2}、太陽光発電設備などの導入により再生可能エネルギーの活用やエネルギー使用効率の向上に取り組んでいます。
※1 大塚製薬、大塚製薬工場、大塚薬品、大塚化学、大塚食品
※2 天然ガスを燃料として発電し、その際に生じる廃熱を蒸気や温水に利用する設備。グループの隣接する工場に電力や蒸気を供給。



製品・サービスを通じた環境負荷の削減
タイヤ用ゴム材料に添加することで、低燃費性・耐久性を向上させる化合物を開発。製品を通じてCO₂削減に貢献 —大塚化学
インターネットで事前に荷下ろし時間を予約できるシステムを開発。これまでドライバーは、荷下ろしの順番を待つため長時間トラック内で待機していた。本システムの導入により物流業界で大きな課題となっている長時間労働等の解決に貢献するとともに、CO₂排出量を削減 —大塚倉庫

事業活動を通じて
サステナブルな社会の実現を目指し
大塚グループは進む。



発行:2022年3月 発行者:大塚ホールディングス株式会社 サステナブル推進部